

中級教科書改訂後の評価

平田 裕

要旨

昨年（2007）夏期に関西外国語大学の中級レベル 4 で使用している教科書の改訂作業を行い、2007 年秋学期と 2008 年春学期の二学期間使用した。本学の日本語プログラムで行われている正規の授業評価にも教材についての質問はあるのだが、さらに詳しく見るために任意のアンケート調査を行い、改訂版の教科書評価の一つとした。このアンケートの結果を見ると、改訂後の教科書はいい評価を得ていると言える。学生からのコメントと実際に使用した教員からのコメントも合わせて、今後の課題を考えてみる。

【キーワード】 中級、教科書改訂、改訂の評価、中級の課題

1. はじめに

関西外国語大学の中級レベル 4 では、1992 年に『日本語会話 4』という教科書の試用版を作成し、1996 年から 2007 年春学期まで使用した。『日本語会話 4』の詳しい作成経緯と様々な中級教科書の比較については、小山・鹿浦・内藤（1997）を参照頂きたい。

昨年（2007）夏期にこの教科書の大幅な改訂を行い、教科書名も『どうも』として 2007 年秋学期と 2008 年春学期の二学期間使用した。詳しい改訂内容については平田（2007）に書いたが、ここで簡単にあげると以下のようなになる。

- (1) レッスン毎の構成を整理統一、使用していなかったセクション B をカット
- (2) 全てのレッスンにダイアログ新規追加
- (3) 文法項目の整理、文法説明の新規追加
- (4) 単語リストを単語クイズ用の必須分と補足学習用の 2 つに分類
- (5) 応用練習の新規追加

本稿では教科書改訂の評価として、3 種類の評価を行う。1 つは、公式 Course Evaluation の数字の改訂前後での比較、もう 1 つは非公式の、教科書評価に絞った学生アンケートによる評価、最後に、実際に使ってみた教員による評価である。

2. 改訂の評価

2.1.1 公式 Course Evaluation における評価（会話、担当分）

本学の日本語プログラムでは長年に渡って学生による Course Evaluation を学期末に公式に行っているが、その中に教材についての質問も一つだけある。教科書改訂の評価として、その公式 Course Evaluation の数字を改訂の前後で比較する。数字のまとめ方としては、その項目を数年に渡って個人的に評価してきたものもあるので、本稿を書くにあたって新しく整理した全体的な数字と合わせて提示することにする。

まず、個人的に教材評価の数字をモニターしていたものが以下の表である。公式 Course Evaluation での質問の仕方としては、2003 年春学期までは「The textbook/reading materials were useful.」という設問に対して、評価 1: disagree から 5: agree までの 5 段階で回答することになっている。2003 年秋学期からは設問の仕方を少し改善して、「useful」ではなくて「adequate」かどうかを問うようになっている。

レベル 4 教科書評価	評価 1・2 (悪い方)	評価 4・5 (良い方)
2002 春 useful?	43%	43%
2003 春 useful?	57%	25%
2003 秋 adequate?	24%	51%
2004 春 adequate?	28%	56%
2004 秋 adequate?	33%	53%
2005 春 adequate?	33%	45%
2005 秋 adequate?	13%	70%
2006 春 adequate?	35%	40%
2006 秋 adequate?	4%	78%
2007 春 adequate?	26%	52%
改訂後 2007 秋	13.6% (3 名)	63.6% (14 名)
改訂後 2008 春	6% (2 名)	75% (24 名)

この表は日本語教員内での学期末反省会資料として筆者が出してきたもので、調査対象はレベル 4 の全学生ではなく、筆者が担当したクラスの学生のみである。改訂後の 2007 年秋と 2008 年春も見やすいように同じ表に示しているが、改訂後の評価の議論

は後ろのセクションにまわすことにして、ここでは改訂前だけを見ることにする。

一見して分かるように、2007年春までは具体的な学生数も示しておらず、詳しい評価をするためには十分な資料とは言えない。また、5段階評価の数字もそれぞれでは見ておらず、ポジティブな方とネガティブな方にまとめて、真ん中の評価になっている数字は出していない。これは、学期末反省会のために使うという目的に絞って、あえてなるべく簡単なまとめ方にしたためである。『日本語会話 4』の改訂が学期末反省会のトピックとしてあがるようになってからは、レベル4を担当した他の教員からもこの設問に対する結果を同様のまとめ方で聞いてきたが、大体の傾向としては上と似たようなものであった。

不十分ながらこの表を出したのは、この程度の簡単なまとめ方でも大体の傾向はつかめたのではないかと思うからである。常に論文に使うような詳しいまとめ方をするのはなかなか難しいが、毎日の繁雑な業務の中でも、その時使っている教材の評価を常に意識しておくのは大事なのではないだろうか。上の表を見ると、学期ごとのばらつきはあるが、大体の傾向としては悪い方の評価が30%から40%ぐらい、いい方の評価が40%から50%ぐらいというところである。中立からプラスの評価が多かったとはいえ、市販の『げんき 1, 2』と比べると、やはり満足度の数字は低いものであった。『げんき 1, 2』の評価については次のセクションで『日本語会話 4』の全体の数字と一緒に見ていく。

2.1.2 公式 Course Evaluation における評価（会話、全体）

このセクションでは、会話レベル1、2、3、4の学生による教科書評価を検証する。データが得られた年度は2002年秋学期から2008年春学期までで、本学の日本語プログラムの会話レベル1、2、3、4の履修者全てを対象にした公式 Course Evaluation からの抜粋である。¹ 稿末に、無加工の人数データの表を添付しておく。

まず、教科書評価の比較基準としてレベル1、2、3の学生による評価データを以下に示す。本学のレベル1、2、3の学生は市販の教科書『げんき 1』『げんき 2』で日本語を学習している。レベル1は『げんき』のレッスン1から9までをカバーし、レベル2はレッスン10から17まで、レベル3はレッスン18から23までをカバーしている。

会話レベル1 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	2%	7%	18%	25%	47%
悪い方、良い方合計	9%		72%		

会話レベル2 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	1%	7%	23%	26%	42%
悪い方、良い方合計	8%		68%		

会話レベル3 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	2%	8%	22%	27%	39%
悪い方、良い方合計	10%		66%		

『げんき』以外の市販教科書の比較対象データはないのであるが、セクション 2.1.1 で提示した『日本語会話 4』のデータを個人的にまとめたものと比較してみると、あらためて学習者による『げんき』の評価は高いことが分かる。『日本語会話 4』の評価 1 と 2 を合わせた悪い方の合計は 30%から 40%、評価 4 と 5 を合わせた良い方の合計は 40%から 50%という数字であった。『げんき』に対する評価は、悪い方を合わせても 10%以下、また、良い方の評価を合わせると 66%から 72%である。これは高評価と言っていい数字ではないだろうか。

また、レベル 1、2、3 全てで同様の好評価というところも注目すべき点であろう。一般的な傾向として予想されることは、学習歴が長くなるにつれて、学習者個人の評価基準もいろいろな比較対象を踏まえて固まってきて、教科書や教材、インストラクターに対する評価は厳しくなっていくと考えられるからである。本学の留学生は、母校の日本語プログラムで『げんき』を使用しているところも多数あるが、使っている教科書が『げんき』ではない大学ももちろん多数ある。教科書が変わる場合は、学習者による教科書評価もより **critical** になると考えられるので、本学での評価が高いということは、『げんき』の評価を強くサポートする点であろう。

ちなみに、次のセクションで見ていくが、『げんき』の読み書き部分の評価はまた違う傾向を示している。読み書きレベル3の評価について言えば、悪い方の合計が 19%、良い方の合計が 50%であり、この数字と比べても『げんき』の会話部分の評価は高いと言える。

ここで、レベル 4 の教科書について、改訂前後の公式 Course Evaluation を見てみる。

以下の表が 2002 年秋学期から 2008 年春学期までの会話レベル 4 の履修者全てを対象にした教科書評価の集約結果である。

会話レベル 4 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
改訂前『日本語会話 4』合計 (2002 秋～2007 春)	10%	22%	21%	22%	23%
悪い方、良い方合計	32%			45%	
改訂後『どうも』合計 (2007 秋、2008 春)	2%	14%	16%	34%	34%
悪い方、良い方合計	16%			68%	

改訂後の使用期間はまだ二学期であるが、悪い方の合計（評価 1、2）は、改訂前が 32%、改訂後は 16% である。また、良い方の合計（評価 4、5）は、改訂前が 45%、改訂後は 68% である。この結果を見ると、改訂によって明らかに学習者による評価は上がっていると言えるだろう。

また、市販の『げんき』と比較してみても、良い方の合計は『げんき』全体で 68%（レベル 1、2、3 の合計人数から計算）であるので、レベル 4 の改訂後が同じ結果を出しているのは評価できる。悪い方の合計を見てみると、『げんき』全体の 9% に対し、レベル 4 の改訂後は 16% なので、この点では遜色ない評価とは言えない。考えられる理由の一つとしては、上にも述べたように学習歴が長くなるほど教材やインストラクターに対する評価が厳しくなるからではないだろうか。セクション 2.2 では新教科書に対象を絞った非公式アンケートの結果を見ていくが、そこで悪い評価の理由も検証していきたい。

2.1.3 公式 Course Evaluation における評価（読み書き、全体）

本稿の本題とは外れるのであるが、『げんき』の読み書き部分について興味深いデータが得られたので、このセクションで提示しておくことにする。本学の読み書きのクラスでは、レベル 1 で『げんき』のレッスン 1 から 9 までをカバーし、レベル 2 はレッスン 10 から 16 まで、レベル 3 はレッスン 17 から 23 までをカバーしている。読み書きのクラスでも会話クラスの文法項目が既習である必要があるため、基本的には読み書きのクラスは会話のクラスよりも 1 レッスン遅れて進んでいくことになっている。

RW レベル 1 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	1%	8%	28%	23%	38%
悪い方、良い方合計	9%			61%	

RW レベル 2 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	2%	7%	31%	26%	33%
悪い方、良い方合計	9%			59%	

RW レベル 3 教科書評価	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋～2008 春 合計	6%	13%	29%	27%	23%
悪い方、良い方合計	19%			50%	

この結果を見ると、読み書きのレベル 1 とレベル 2 では、良い方の合計は会話部分に対する評価より 10%ほど数字が低くなっているが、悪い方の合計は 10%未満で、全体としては会話部分と同じ傾向であると言っていいだろう。しかし、レベル 3 では悪い方の合計が 19%に増え、良い方の合計も 50%に留まっている。これは、段階的に少しずつ数字が悪くなっていくパターンではなく、レベル 3 で急に数字が悪くなっていると考えていいのではないだろうか。

理由の一つとしては、先にも書いたように、学習暦が長くなるほど教科書やインストラクターに対して **critical** になることが考えられる。それと関連して、特に、本学の日本語プログラムでは会話のクラスと読み書きのクラスを完全に独立させているので、例えば、会話はレベル 4 であるが読み書きはレベル 3 という学生も多数存在することも評価が低くなる理由として考えられる。こういう学生は、扱える漢字の数が少ないために、読み書きのクラスは会話よりも下のレベルに入っている。しかし、既習の構文や単語の数の面では読み書きのクラスでの内容よりも学習が進んでいるので、教科書の内容がつまらないという評価につながりやすいのではないだろうか。ただ、学生の履修パターンとしては、会話のクラスはレベル 3、読み書きはレベル 2 という学生も多数存在するので、上記の説明では、読み書きレベル 2 の評価もレベル 1 と同様の好評価であるということはいま説明できない。読み書きレベル 1 の評価が高いことについては、履修パターンとして会話レベル 2、読み書きレベル 1 という学生も少なからず存在するが、読み書きのレベル 1 ではひらがな・カタカナの習得、漢字の導入スタートが大きな目標であり、扱える漢字の数も少ないので、学習者としても読

み物の内容についてどうこう言うものではないのかもしれない。

読み書きレベル3部分の評価が急に下がるもう一つの理由としては、会話用教科書とは違った、読み書き用教科書特有の難しさも挙げることができるだろう。会話でのダイアログと比べると、読み書きの教科書で提供している読み物は長めになるのが当然である。しかし、ある程度まとまった長さで、内容的に面白く、多様な学習者の興味に沿っており、しかも既習の構文や単語しか使っていないという前提で authentic な日本語の文章を探す（または作る）というのはかなり難しい。その上、教科書にするためには、そのレベルで導入すべき漢字を考慮しながら、要件を満たす読み物を多数揃えなければならない。更に、読解力向上、作文力向上、漢字力向上などのための効果的な練習も考えなくてはならない。こうして見ると、学習者による読み書き用の教科書の評価が会話用に比べて低くなるのはある程度仕方ないことにも思える。そういう傾向の中でも、いかに良い読み書き用の教科書を作っていくかは、日本語教育の中で大きな課題の一つであると言ってもいいのではないだろうか。読み書き用教科書一般の議論とは別に、『げんき』の読み書き部分の場合、レベル3で急に評価が落ちているので、その理由はもっと詳しく調べてもいいところだと思われる。

2.2 非公式教科書アンケートでの評価

このセクションでは教科書改訂評価のために行った非公式アンケートの結果を見ていく。実施したのは改訂後の2007年秋学期2008春学期の2学期である。学期末にはプログラム全体で公式に行っている Course Evaluation もあり、クラスのスケジュールも厳しい時期なので、記入はクラス外で提出は任意とした。稿末にアンケート用紙と人数の無加工データを参考資料として添付しておく。学期末で学生も忙しいこともあり、2007年秋学期の提出人数は82名中28名、2008春学期は88名中26名となった。回収率としては2学期合計で約32%である。このセクションでの議論は、この回収率を前提としたものである。

アンケートは、教科書の構成に従ってそれぞれの内容を excellent から poor までの5段階で評価するもので、項目毎に自由にコメントを書くこともできる。また、使用しなかったという選択肢も選べるようにしておいた。今まで見てきた公式 Course Evaluation とは良い悪いの順番が逆になっているが、本稿でもアンケートの順番通りに表に示し、各項目の下の行に良い方の評価の合計として excellent と good の数字を足したものと、悪い方の合計として so so と poor の数字を足したものを示している。

まず、2学期を合わせたデータから見てみる。

2学期合計 学生数：54	excellent	good	fair	so so	poor	使用せず	マーク なし
目標・使い方	11%	46%	13%	7%	0%	20%	2%
	57%			7%			
目次	20%	37%	9%	2%	0%	31%	0%
	57%			2%			
レッスン表紙	11%	41%	15%	4%	2%	28%	0%
	52%			6%			
会話例	15%	35%	17%	6%	2%	26%	0%
	50%			8%			
単語リスト	28%	52%	15%	6%	0%	0%	0%
	80%			6%			
表現の説明	26%	46%	13%	7%	6%	0%	0%
	72%			13%			
表現の紹介	11%	52%	26%	2%	6%	4%	0%
	63%			8%			
基本練習	7%	50%	17%	4%	0%	20%	2%
	57%			4%			
応用練習	11%	41%	19%	4%	2%	24%	0%
	52%			6%			
聞き取りスクリ プト	26%	48%	20%	4%	2%	0%	0%
	74%			6%			
追加単語リスト	13%	50%	6%	0%	2%	31%	0%
	63%			2%			
総合評価	19%	61%	15%	6%	0%		0%
	80%			6%			

まず、概観であるが、総合評価で良い方の合計が80%という高い数字になっており、その他全項目に渡って良い方の合計が50%を超えているので、全体の評価としても良く、教科書の構成もよかったと言えるのではないだろうか。ちなみに、セクション2.1.2で見たように、全履修生での公式 Course Evaluation では、良い方の合計は68%である。

次に、良い方の合計が高い項目を見てみると、「単語リスト」、「表現の説明」、「聞き取りスクリプト」が70%を超えている。まず、単語リストについてであるが、このリストの単語は単語クイズのために覚えなくてはならないもので、通常のレッスンで40個あまり、オノマトピアや自動詞・他動詞もターゲットになっているレッスンでは80個ほどにもなる。学生の方としても勉強の負荷が高いので、通常のクラスで学生に接している時には単語の数については多すぎるとの声が多い。予想に反して評価が高

かったのは、単語のセクションがよく、単語リストに例文をつけているからだと考えられる。学生のコメントをいくつかそのまま載せると、

- '07 秋
- Example sentences were helpful.
 - Some examples could have been better, but in whole very good.
 - Too many, easy to forget after quiz.
 - Relevant but too much too fast.
 - It was good that there were examples!

- '08 春
- I really like how they are organized into topics per chapter. I can remember words better when they are grouped together like this!
 - Useful words!

各レッスンの最後に「追加単語リスト」を付けているが、これについても良い方の合計が 63% と評価が思いのほか高かった。通常の単語リストだけでもかなりの分量であり、クラス内でも扱えないほどの量になってしまうのだが、平田（2007）でも述べたように、単語の数を増やすというのは中級での大きな課題の一つであるのは間違いないので、それを学習者が認識するためにもよいのではないかと考え、改訂後にも敢えて載せたものである。ただし、評価が高かった反面、「使用せず」にマークした学生も 31% になっており、実際の有効性を高めるのは難しいと言えるだろう。

次に、「表現の説明」のセクションについてであるが、これは改訂の大きな柱の一つとして新しく追加した内容であり、72% という高い評価を得ることができたことは、今回の改訂全体を評価する一つの判断材料にしてよいだろう。学生のコメントをいくつかそのまま載せると、

- '07 秋
- Very good structure, but the fields to fill out should be talked about.
 - Since these grammar structures may be hard to explain, it's understandable that sometimes the explanations were unclear. However the examples helped a lot, and I appreciated the スタイル explanations.
 - Leaving blanks in the explanations for students to fill out is not a good idea.
 - Having blank spots to fill was a good idea.
- '08 春
- Need more explanation of applicable context.

- Great explanations of grammar.
- So much better than Genki's explanations.
- Sometimes needed additional explanation by the teacher, but otherwise on par with Genki I/II.
- Having to fill in the blanks was unnecessary/frustrating.

文法の説明は、文法用語の使い方や内容の詳しさのレベルなどに学習者それぞれの好みがかかり出るところであり、コメントもそのバラつきを反映したものだと考えられる。「Fill in the blanks」についても好みがかかれたようである。「Fill in the blanks」も今回の改訂で意図的に追加したフォーマットで、それぞれの表現の説明に「接続」というセクションを設けて、使うときの品詞やフォームなどを空欄に入れるようにした。例えば、「N/V っぽい」という表現では、「(接続) As in (c) and (d), the verb before っぽい takes the _____ form. As in (b) and (d), N/V っぽい takes the conjugation.」というように、例文から文法的な分析を行い、空欄を埋めるというものである。

改訂後の教科書では、中級レベルでの大きな目標の一つに「中級以降も自分で勉強を続けていけるように、自習のためのスキルを身につける」(抜粋)ことをあげているが、そのためには基本的な文法の分析力を養うことが重要であるとの考えから、このような簡単な練習を載せることにした。教科書の巻末には答えも載せているので、学習者もそれを見ればフラストレーションになるようなことも少なくなると思われるのだが、教科書にどのような情報があるのか知らないまま過ごしてしまう学生も多いようで、そういう学生から否定的なコメントが出たようである。これは教科書の使い方(それぞれのセクションの意図)の説明を徹底するという教員側の課題でもあるが、以下に見ていくように、表現の説明のセクションについての良い評価の合計は 2007 秋から 2008 年春にかけて 60%から 81%に大きく向上している。教員側も教科書の使い方に慣れて、「Fill in the blanks」に対しても、より多くの学生がその意図を理解するようになったのではないだろうか。

もう 1 点、良い方の合計が 70%を超えたのは「聞き取りスクリプト」であるが、この評価が高いのは、聞き取りの宿題をするためにはスクリプトが必須だったからであろう。学生のコメントをいくつかそのまま載せると、

- '07 秋
 - They really helped clarify difficult points in the listening.
 - Helpful for LL homework.
 - I didn't realize they were there until the end but they were useful.
- '08 春
 - Sometimes a bit difficult to understand; very short grammatical expressions or words that are easily misinterpreted when just listening.

聞き取りの宿題のダイアログは、ターゲットの表現や単語をなるべく多く入れようとするので、どうしても長めになってしまう。ダイアログを聞いて設問に答えるというフォーマットにしては、ダイアログが長すぎるとも言える。しかし、聴解力を伸ばすためには、単に設問に答えるために要点だけを聞き取るような練習だけではなく、副詞や接続詞、正確な言い回し、ニュアンスなども含め、言っていること全てを聞き取ろうとする練習も必要である。その練習のためには、長めのダイアログも有効なのではないだろうか。聴解の練習ではなく読解になってしまっただけではいけないので、スクリプトの使い方の指導には気をつけなくてはならないが、長いダイアログを使って丁寧に細部まで聞き取るような聴解の練習のためにはスクリプトは必須であろう。聞き取りの宿題という前提でダイアログの長さと言及したが、聴解の試験問題を考える際は、ダイアログが長すぎないように特に気をつける必要がある。

以上が、評価が高かったセクションについてであるが、今回のアンケートでは「使用せず」の数字が高かった項目もある。「目標・使い方」「目次」「レッスン表紙」「会話例」「基本練習」「応用練習」「追加単語リスト」の各項目については、「使用せず」の数字が20%を超えており、学生によっては教科書の中で使う部分と使わない部分のはっきり分かれていたようである。コメントの中にも「今まで教科書の中にこういうセクションがあることを知らなかった」というものも散見された。特に課題となるのは「基本練習」「応用練習」のセクションである。改訂後の教科書『どうも』では、教科書に載せている練習は、クラス内での実践的な会話練習のための準備であって、学習者が予習／自習するものという位置づけにしている。中級の学生とは言っても、基本練習が要らないほどしっかりした会話力の基礎がついている学生はほとんどいないので、基本練習をLLでしっかりやって欲しいのであるが、実際のところはレベル4ぐらいになるとLL教室に行って基本的な練習をする学生というのは極端に減って、ごく少数になってしまう。「基本練習」と「応用練習」のセクションの利用率を上げる、有効な練習につなげるというのは、教員側の今後の課題でもある。

次に、2007 年秋学期と 2008 年春学期を比較してみる。下の表に数字の変化を示した。

非公式アンケート (2007 秋学生数：28) (2008 春学生数：26)	excellent と good の 合計	so so と poor の 合計	使用せず
目標・使い方	53% → 62%	7% → 8%	25% → 15%
目次	60% → 54%	0% → 4%	32% → 31%
レッスン表紙	50% → 54%	11% → 0%	21% → 35%
会話例	50% → 50%	11% → 4%	21% → 31%
単語リスト	75% → 84%	7% → 4%	0% → 0%
表現の説明	64% → 81%	18% → 8%	0% → 0%
表現の紹介	43% → 84%	11% → 4%	4% → 4%
基本練習	33% → 85%	7% → 0%	29% → 12%
応用練習	36% → 70%	8% → 4%	36% → 12%
聞き取りスクリプト	75% → 73%	8% → 4%	0% → 0%
追加単語リスト	57% → 70%	4% → 0%	32% → 31%
総合評価	72% → 89%	11% → 0%	

この表を見ると、2007 年秋よりも 2008 年春の方が全体として評価が高くなっていることが分かる。考えられる理由の一つとしては、評価者である学生次第で学期によって評価がバラついている可能性も挙げられる。もう一つは、改訂後 2 学期目になって教員の方も最初の学期よりも使い方に慣れたことが高評価につながったということも考えられる。適切な評価を行うためには、継続的な評価を続ける必要がある部分である。

評価が著しく上がった項目としては、「表現の説明」「表現の紹介」「基本練習」「応用練習」が挙げられる。2 学期合算でみると「基本練習」と「応用練習」は「使用せず」という数字が 20% を超えていて、教員側の課題であると上述したが、2008 年春にはその数字も 12% に下がっており、良い方の数字の合計も「基本練習」85%、「応用練習」70% と高い数字になっている。この結果からすると、2008 年春の高評価は、教員側が教科書の使い方に慣れて、学生に対して適切な使い方の指導をしたという要素が大きいと考えられる。

このセクションでは改訂後の教科書についての非公式アンケートの結果を検証したが、以上のことから、レベル 4 の中級教科書改訂は成功だったと考えてよいのではないだろうか。ただし、当然のことであるが、学習者による評価が高い教科書が本当によい教科書であるとは限らない。

2.3 教員による評価

このセクションでは、教員側の視点から改訂後の教科書の評価、今後の改善点などを考えていく。実際に使った教員は筆者以外では2名で、その2人の先生方にコメントをもらった。まず、使いやすい点としては、単語リスト、文法説明、基本練習、応用練習、聞き取りの宿題、文法の宿題など、教材が揃っているところが挙げられた。これは、初級では当然そうであるべき状態かもしれないが、全てを一度に準備するのは相当の負荷である。今回の作業も改訂であって、全てを新しく作った訳ではない。今の段階で教材が揃っているのは、これまで会話レベル4のコースに関してきた多数の教員の労力の集積である。教科書記載以外の内容になるが、文法の宿題のハンドアウトや文法説明のための補足ハンドアウトは既存のものがあり、今回の改訂の内容に合わせて変更、整備を行った。

教科書の内容的にも、このトピックは特に扱いつらいなどのコメントはなかった。本学は関西に位置しているので、トピックとして関西弁・方言を扱っているのも、学生のモチベーションのためにもいいようである。環境問題のトピックは用語も難しいので、もう少し普通の政治に関するトピックの方がいいというコメントも学生のアンケートにはあった。

教科書の構成は概ね良く、会話例や応用練習も良いというコメントもあった。会話例については、学生からも「自然でよい」「LLの音声教材の質は悪いが、読み物としても楽しんだ」というようなコメントもあった。その一方で、教科書としては「会話例」の使い方を指定していないので、うまく学習に生かす方法を考える必要があるだろう。また、構成については、第6課と8課には「表現の紹介」のセクションがなく、第9課には聞き取りスクリプト（宿題）がないので、全レッスンを統一するというのが改善点の一つとして挙げられた。単語の細かい見直しなども継続的な課題である。

筆者自身としては、今後の改善点として、単語力を高めるための練習セクションを追加することを一つ挙げたい。中級の課題の一つは単語数を増やすことであると述べてきたが、数だけではなく、それぞれの単語の使い方ももっと踏み込んで学習する必要がある。例えば、「増える」と「増加する」については日常用語とフォーマルな用語という区別だけでなく、「メニューが増えた」とは言えるが、「メニューが増加した」とは言わない、などの使い分けを覚える必要がある。中級以降、知っている単語の数、学習する単語の数が増えてくると微妙な使い分けが今まで以上に重要になって

くる。単語クイズの対象アイテムに限ったとしても、クラス内の練習では全ての単語の使い分けを練習に組み込むことは現実的には不可能である。単語の学習は、特にクラス外で個人的にできる分野であり、教科書に単語力を高めるためのセクションを設けることで、単語学習の効率と効果をかなり高めることができるのではないだろうか。

上述した項目に加え、もっと細かい部分での具体的な改善点についても多々コメントがあったが、全体の評価としては、教科書を使う教員側からしても、今回の改訂によってレベル4の教科書は使いやすくなったと評価してよいようである。上に「教材（内容）が揃っている」というコメントを挙げたが、改善度合いとしては、以前よりもよくなったという相対的な比較だけの問題ではなく、一つのコースを教えるために必要な教材として絶対的な基準で合格点に達しているのではないだろうか。

当然のことながら、今回の改訂作業を取りまとめたという立場から、筆者が行う個人的な評価は bias がかかっている。また、教科書については、学習者にも好き嫌い出るものであるが、教員の方も使いやすいと感じる教科書、使いにくいと感じる教科書、個人の好みがかなり出る部分である。改訂後の教科書を使った教員は今までのところ2名だけであるので、教員側からの評価については、継続して判断すべきところである。

3. まとめ

昨年度、中級会話クラスの教科書の大幅な改訂に携わった経緯から、本稿では改訂後の教科書の評価を試みた。評価方法は3種類、公式 Course Evaluation での評価、教科書評価に絞った非公式の学生アンケートによる評価、最後に、実際に使ってみた教員による評価である。

公式 Course Evaluation における教材評価の数字を改訂の前後で比較すると、悪い方の評価（評価の1と2）は改訂前の32%から改訂後16%に下がり、いい方の評価（評価の4と5）が45%から68%に上がっている。この数字は、本プログラムの初級で使用している市販教科書の『げんき』とそれほど遜色のない数字である。また、非公式アンケートによる学生からの評価も高かった。実際に使った教員からのコメントも、全体としてはよかったと言える。改善点としては、構成の更なる統一、トピックの見直し、単語の更なる見直し、などが出ている。筆者としても、単語力を養うための自習セクションを増やすのは、今後の改善点としてよいのではないかと考える。3つの視点から評価を試みたが、全体として、今回の改訂後の教科書『どうも』の評価はよ

かったと言えるだろう。

日本語に限らず、語学教材は何らかのタイミングで常に新しくしていく必要がある。言葉話す、使うということは、社会や文化的背景あってこそなので、語学教材も恒常的に使えるということはある得ない。今回の改訂後の教科書についても、継続して改善・改訂を考えていく必要がある。

作成した教材を市販レベルに持っていくという機会においては、試作版の詳しい評価をするのが普通であろう。そういう規模ではなくても、日本語教育の現場では教科書の作成、改訂というのはそれほど珍しいことではない。しかし、日常の煩雑な業務の中では、使っている教科書や教材の評価を詳しく行うというのはなかなか手がかからないことではないだろうか。今回の教科書改訂と改訂評価を機会に、教科書評価／教材評価についても継続的に考えていきたい。

注

(1) Course Evaluation を行う当日に欠席した学生に対しては、メールボックスに評価用紙を入れて提出するように促しているが、全部回収できないこともあるので、統計の対象外になっている学生も少数ではあるが存在する。

参考文献

- 小山揚子・鹿浦佳子・内藤裕子（1997）「中級後期の会話教科書 -試用版を総点検する-」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第7号 pp.37-78.
- 坂野永理・大野裕・阪根庸子・品川恭子・渡嘉敷恭子（2005）『げんき 1, 2』 The Japan Times.
- 平田裕（2007）「教科書作成について - 中級教科書改訂作業を機に -」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第17号 pp.1-28.

(hirata@kansai-gaidai.ac.jp)

参考資料 公式 Course Evaluation 会話レベル1 教科書評価 人数データ

会話レベル1 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	94	3	4	12	23	50
2003 春	62	0	5	10	12	34
2003 秋	128	0	7	27	35	59
2004 春	53	2	2	10	14	25
2004 秋	122	1	9	24	31	56
2005 春	47	2	2	7	9	27
2005 秋	80	1	6	15	25	31
2006 春	63	3	9	11	12	28
2006 秋	67	0	7	9	23	26
2007 春	51	2	1	8	10	30
2007 秋	76	3	8	16	17	31
2008 春	46	0	2	10	13	18

参考資料 公式 Course Evaluation 会話レベル2 教科書評価 人数データ

会話レベル2 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	75	3	7	15	14	36
2003 春	76	2	3	15	15	39
2003 秋	88	0	4	31	20	33
2004 春	90	1	3	20	30	36
2004 秋	106	2	9	19	29	46
2005 春	90	0	9	19	19	41
2005 秋	119	1	7	21	35	54
2006 春	94	0	6	27	26	34
2006 秋	134	1	5	35	34	59
2007 春	86	3	5	19	20	38
2007 秋	124	1	17	30	35	41
2008 春	86	1	8	22	24	31

参考資料 公式 Course Evaluation 会話レベル3 教科書評価 人数データ

会話レベル3 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	65	1	4	9	20	31
2003 春	42	0	2	3	7	29
2003 秋	68	1	6	14	15	31
2004 春	72	0	5	18	17	31
2004 秋	70	3	7	20	18	19
2005 春	78	1	4	20	14	36
2005 秋	100	0	8	26	34	30
2006 春	97	2	5	22	34	33
2006 秋	106	2	13	17	32	42

2007 春	95	2	9	18	28	37
2007 秋	89	6	9	25	21	28
2008 春	89	2	8	24	24	31

参考資料 公式 Course Evaluation 会話レベル4 教科書評価 人数データ

会話レベル4 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	48	3	18	5	10	12
2003 春	63	12	15	13	12	11
2003 秋	53	3	10	14	14	12
2004 春	85	7	25	18	17	17
2004 秋	75	15	16	10	19	15
2005 春	70	6	16	9	21	18
2005 秋	77	8	10	16	18	23
2006 春	76	7	13	20	18	17
2006 秋	83	2	13	22	21	24
2007 春	90	11	23	26	11	19
旧教科書合計	720	74	159	153	161	168
改訂後 2007 秋	82	3	11	12	28	27
改訂後 2008 春	88	1	12	16	29	30
新教科書合計	170	4	23	28	57	57

参考資料 公式 Course Evaluation 読み書きレベル1 教科書評価 人数データ

RW レベル1 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	90	0	9	26	24	29
2003 春	56	1	4	11	18	21
2003 秋	126	1	5	41	30	49
2004 春	55	0	3	13	15	23
2004 秋	124	0	7	42	35	39
2005 春	49	1	4	10	9	24
2005 秋	102	1	13	26	19	43
2006 春	59	1	6	17	7	28
2006 秋	55	0	6	20	15	14
2007 春	58	2	4	13	9	28
2007 秋	64	3	4	14	18	23
2008 春	46	0	2	17	8	19

参考資料 公式 Course Evaluation 読み書きレベル2 教科書評価 人数データ

RW レベル2 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	77	3	8	18	21	27
2003 春	71	0	4	22	15	28
2003 秋	95	1	6	28	26	34
2004 春	84	1	3	25	21	33
2004 秋	105	5	3	41	31	24
2005 春	76	2	3	21	25	23

2005 秋	104	2	4	28	21	49
2006 春	111	2	8	33	31	37
2006 秋	153	3	7	43	40	60
2007 春	77	1	7	20	24	24
2007 秋	149	6	20	50	35	38
2008 春	73	1	6	33	19	14

参考資料 公式 Course Evaluation 読み書きレベル3 教科書評価 人数データ

RW レベル3 教科書評価	学生数	評価 1 悪い	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5 良い
2002 秋	55	1	5	18	12	19
2003 春	46	12	13	12	8	1
2003 秋	52	0	4	16	17	15
2004 春	62	2	7	12	23	18
2004 秋	50	3	9	14	12	11
2005 春	59	2	2	21	19	13
2005 秋	74	1	9	24	20	19
2006 春	63	4	3	21	17	18
2006 秋	84	3	11	19	22	28
2007 春	76	3	7	20	27	17
2007 秋	70	8	15	17	17	13
2008 春	81	8	19	31	17	6

参考資料 2007 秋 非公式アンケート 会話レベル4 教科書評価 人数データ

2007 秋 非公式アンケート	excellent	good	fair	so so	poor	使用 せず	マーク なし
目標・使い方	4	11	4	2	0	7	0
目次	6	11	2	0	0	9	0
レッスン表紙	5	9	5	2	1	6	0
会話例	5	9	5	2	1	6	0
単語リスト	5	16	5	2	0	0	0
表現の説明	5	13	4	3	2	0	0
表現の紹介	1	11	12	1	2	1	0
基本練習	1	8	9	2	0	8	0
応用練習	3	7	6	1	1	10	0
聞き取りスクリプト	8	13	5	1	1	0	0
追加単語リスト	5	11	3	0	1	9	0
総合評価	3	17	5	3	0	0	0

参考資料 2008 春 非公式アンケート 会話レベル4 教科書評価 人数データ

2008 春 非公式アンケート	excellent	good	fair	so so	poor	使用 せず	マーク なし
目標・使い方	2	14	3	2	0	4	1
目次	5	9	3	1	0	8	0
レッスン表紙	1	13	3	0	0	9	0
会話例	3	10	4	1	0	8	0

単語リスト	10	12	3	1	0	0	0
表現の説明	9	12	3	1	1	0	0
表現の紹介	5	17	2	0	1	1	0
基本練習	3	19	0	0	0	3	1
応用練習	3	15	4	1	0	3	0
聞き取りスクリプト	6	13	6	1	0	0	0
追加単語リスト	2	16	0	0	0	8	0
総合評価	7	16	3	0	0		0

参考資料 2007 秋/2008 春 合計 非公式アンケート 会話レベル 4 教科書評価
人数データ

2 学期合計	excellent	good	fair	so so	poor	使用 せず	マーク なし
目標・使い方	6	25	7	4	0	11	1
目次	11	20	5	1	0	17	0
レッスン表紙	6	22	8	2	1	15	0
会話例	8	19	9	3	1	14	0
単語リスト	15	28	8	3	0	0	0
表現の説明	14	25	7	4	3	0	0
表現の紹介	6	28	14	1	3	2	0
基本練習	4	27	9	2	0	11	1
応用練習	6	22	10	2	1	13	0
聞き取りスクリプト	14	26	11	2	1	0	0
追加単語リスト	7	27	3	0	1	17	0
総合評価	10	33	8	3	0	0	0

参考資料 会話レベル 4 教科書評価 非公式アンケート用紙
JPN4 Textbook Feedback/Comment Sheet '07 Autumn

In order to improve our textbook, we would like to have your feedback/comments regarding the textbook. This is not an official questionnaire, but we will highly appreciate your cooperation. Thank you very much in advance.

Please return this sheet to the JPN 4 Textbook Feedback mailbox on the 1F (tagged with a red paper, at the very end of the international student section) , or to your instructor's door slot.

1. Your section: ・ 4A ・ 4B ・ 4C ・ 4D ・ 4E ・ 4F ・ 4G

•Please indicate your evaluation from 5 (Excellent) to 0 (Not used/read) to each section of the textbook. We appreciate your concrete comments.

2. 目標/使い方 もくひょう つかいかた Goal settings/how to use this textbook:

5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
Comment ()

3. ^{もくじ} 目次 Table of contents:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
4. Title page of each lesson:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
5. ^{かいわれい} 会話例 Sample dialogues:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
6. ^{たんご} 単語リスト:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()

PLEASE TURN OVER

7. ^{ひょうげん せつめい} 表現の説明 Grammar explanations of new structures:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
8. ^{ひょうげん しょうかい} 表現の紹介 Review/Introduction of related expressions:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
9. ^{きほんれんしゅう} 基本練習 Basic practices:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
10. ^{おうようれんしゅう} 応用練習 Application practices:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
11. 聞き取りスクリプト Listening homework scripts:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
12. ^{ついか} 追加単語リスト Extra vocabulary list:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor 0. Not used/read
 Comment ()
13. Your self-evaluation; How much effort did you put into studying Japanese this semester?
 5. worth A 4. worth A- 3. worth B 2. worth B- 1. Lower than C
14. Overall Textbook Evaluation:
 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. So so 1. Poor

Comments: _____ (実際は7行分のスペース)